

# ひろの

## 議会だより

元気に育て!

お母さんにだっこされ  
ごきげんな子どもたちでした

**広野町男子寄宿舎(第1期)新築工事着工へ**

(サッカー国際人育成支援施設整備事業) ..... 2

豪雨被害の災害復旧を急ぐ(補正1,390万円)..... 8

乳幼児医療費を満12才まで無料化(委員会報告)..... 12

町政を問う(7議員が一般質問)..... 15

No.92



## 第2回臨時会

### サッカー国際人育成支援施設整備事業

### 広野町男子寄宿舎（第1期）新築工事 着工へ

7月27日に第2回臨時会が開催され、6月定例会で否決されたサッカー国際人育成支援施設整備事業にともなう広野町男子寄宿舎（第1期）新築工事の請負契約について、再度提案されました。また、新たに教育委員会委員を任命するための案件もあわせて提出され、全会一致で可決されました。

ただし、会議では今回の入札でも一部報道機関に談合情報が寄せられ、その情報どおりの業者が落札したことや、またしても入札に町内業者を加えなかったことなどについて、議員から激しい抗議の意見が相次ぎました。

なお、工事は常磐開発・東北建設特定建設工事共同企業体が、7億2,975万円で落札し、契約を締結しました。完成予定は平成19年3月12日です。

# 子どもたちの 将来を優先し可決

練習に励むJFAアカデミーの生徒たち（広野町サッカー場）

## 否決された理由を もっと重く受け止めよ

**中津伸一議員** この工事請負契約は、先の定例会において賛成少数で否決されたものですが、今回の入札でも前回の指摘内容が全く反映されていません。

こういう不景気の中にあつては、地元業者にも共同企業体の中に加わってもらい、地元商工会の活性化にもつながるようすべきです。

また、談合情報が新聞社に寄せられて、その情報どおりの業者が落札するようなのは、あつてはならないことです。

町長はじめ執行部は、われわれ議会議員の意見を反映させるつもりはないのですか。なぜ地元業者を入れないのですか。落札率はいくらですか。

**塚越助役** 当事業は、規模的にもかなり大規模なうえ、工期的にも厳しく、年度内完成を目指して当事業を実施しなければならぬという制約もあります。この事業の実施にあたっては、同等の実績、

さらには資力、技術力等を有する企業の共同企業体とし、やむを得ず町内企業との共同企業体については断念しました。また、落札率は設計額に対して96・4%です。

**中津伸一議員** 子供たちのためにも、何とか早めに宿舎を建設しなければならぬと思つていますが、前回の反対討論の意見が全く反映されなまま賛成することはできません。今後この仕事に関して、地元業者の処遇については、どのように考えていますか。

**塚越助役** 契約締結となれば、地元業者が参入できるよう強くお願ひしたいと考えています。

また、今回の工事では、前回の工事から外構工事等を除外していただきますので、それらは今後、地元業者に発注したいと考えています。

### ◆同様意見◆

**鈴木正範議員** 昨今の不況により、町内の業者は商工会も含めて



建設が始まった男子寄宿舎新築工事

全体的には非常にづらい思いをしています。

今回落札した業者でさえ、当然ほかの業者に仕事を発注するわけですから、町内の業者であっても工期が遅れることなく、きつと同じ仕事はできると思います。

**新妻良平議員** 前回の否決を受けて、結果的には外構工事等を地元業者に発注するようになったわけですから、今後はもう少し時期を見て余裕のある計画を組むなど、町民のためになる発注をしてください。

### 第2回臨時会人事

**教育委員に芦川鋭章氏と鎌倉邦之氏が任命されました**  
前委員の辞任により空席になっていた教育委員に、芦川鋭章氏と鎌倉邦之氏が任命されたため、議会として同意しました。

### 教育長は芦川鋭章氏

また、その後開かれた教育委員会で、芦川鋭章氏は空席になつていて教育長に選任されました。  
任期は前任者の残任期間である平成19年7月14日までです。



上浅見川字虻木  
鎌倉邦之氏



下浅見川字桜田  
芦川鋭章氏



# 決算議会 9月 定例会

## 平成17年度の歳出決算 わが町の運行費 **62億** 認める

どうする 収入未済額、まもなく2億円に到達  
(税金等の滞納など)



17年度決算起立採決のようす

平成18年9月定例会は、9月12日から14日までの3日間の会期で開かれました。町長から町政全般についての経過報告が述べられるとともに、「広野町国民健康保険条例の一部を改正する条例」をはじめ、一般会計および特別会計補正予算案など16の議案が慎重に審議されたほか、議員発議として「公共工事における賃金等確保法（仮称）の制定など公共事業における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書」が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

また、9月定例会は、決算議会でもあり、17年度一般会計および特別会計の7会計を認定しましたが、依然として財源の確保が大きな課題となっていることから、町税等の滞納対策などをめぐって、活発な質疑が交わされました。

なお、一般質問では、7人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いました。

### 決算審査の意見



小貫 春夫 代表監査委員

#### 総括意見

平成17年度の事業については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、適正に執行されたと認めることができる。

#### 審査のむすび

当町の財政状況は、広野火力発電所5号機の運転開始により、固定資産税が大幅な増収となり、良好な状態になりましたが、あくまで一時的なものです。

今後は、平成18年度以降減少する税収を見すえ、効率的な予算執行をはかるためにも必要な事業を見極め、事業実施にあたっては、積極的に各種財源の確保に努めるとともに、新たな財源の発掘について鋭意努力することを望みます。

### 議員発議

3月定例会で次の一般選挙から議会議員定数を2人削減し、12人とする条例案が可決されたのを受け、今回議員発議として下記の条例案が提出され、全会一致で可決されました。

#### 議会委員会条例の改正

〔現行〕 総務常任委員会5人、産業常任委員会4人、  
文教厚生常任委員会5人 (任期2年)

〔改正後〕 総務文教常任委員会6人  
産業厚生常任委員会6人 (任期4年)

#### 議会広報の発行に関する条例の改正

〔現行〕 定数4人(副議長および各常任委員会各1人)

〔改正後〕 定数5人(副議長および各常任委員会各2人)



提出者 猪狩新一郎 議員

〔賛成者〕 松本 浩司  
渡邊 正俊  
塩 史子

#### 決算のあらまし

一般会計は約45億2,900万円、特別会計は、国民健康保険など6会計合わせて約17億円となり、合計62億2,900万円余の歳出決算となりました。16年度と比べて、約8.7パーセントの増加です。これに対して、歳入決算は歳出決算を2億5,100万円ほど上回る、約64億8,000万円となりました。

しかし、一般会計と6特別会計を合わせた収入未済額(税金等の滞納など)については、前年度より約1,800万円増加し、約1億9,700万円に拡大しています。町民の負担の公平性を保つためにも、早急な改善が求められます。

(※詳しくは、「広報ひろの11月号」をご覧ください。)



# 役場職員等の 飲酒運転防止に努めよ

**猪狩新一郎議員** 飲酒運転等については、議員も含め、役場職員や学校の先生は、特に注意しなければなりません。責任者としてどのように指導していますか。

**山田町長** 課長等会議の中で指導するとともに、グループ内でも十分に注意するよう指導しています。

## ホームページの有効的な活用を

**新妻良平議員** ホームページは庁舎が休んでいる間も動いており、そこにアクセスして来る人もいますので、常に新しい情報を発信すべきだと思います。今後どのくらいの頻度で更新するつもりですか。

**根本企画グループリーダー** 各行政区に回覧等でお知らせする内容については、掲載して行きます。

## 子どもたちの安全確保に万全を

**渡邊正俊議員** 夏休み期間中、プールの一般開放にあたっては、監視員に、AED（自動体外式除細動器）※などの講習を受けさせていたのですか。

**鯨岡教育グループリーダー** プール監視員には、消防署等で事前に蘇生訓練などの講習を受けさせ、事故防止に努めました。



AED（自動体外式除細動器）

## 電気牧柵等を補助の対象にできないか

**塩 史子議員** イノシシによる農作物被害を防ぐために、電気牧柵等を設置する農家を有害駆除助成金の対象にできませんか。

**渡辺産業グループリーダー** 電気牧柵等を個人で設置している方もいますが、場所によって設置費用が異なりますので、状況を見て検討して行きます。



電気牧柵が設置された農地

※AED（自動体外式除細動器）Automated External Defibrillatorの略で、心臓が突然停止（心室細動という病名）した際に、電気ショックを与えて心臓の動きを戻すことを試みる医療機器

## 休眠状態になっている町有地の早期払い下げを

**鈴木正範議員** 休眠状態になっている町有地については、必要な人に払い下げれば、税収も上がり、管理も行き届くと思いますが、いかがですか。

**山田町長** その考えどおりに今思っているところです。

## 特老の建設には町民の理解が必要

**中津伸一議員** 特別養護老人ホームをつくると、一人当たりの介護保険料は概算で年間1万円ほど上がるということですが、多くの高齢者は少ない年金から介護保険料を徴収されているわけですから、後で苦情が出ないよう、今から啓蒙すべきではありませんか。

**塚越助役** 施設をつくれれば、介護保険料はかなり増額になると思います。施設の整備にあたっては、これらの周知徹底と町民の理解が必要です。

## 正直者が馬鹿を見ないような政策を

**塩 史子議員** 受益者分担金をきちんと支払っている人がいる反面、支払っていない人が非常に多くいます。滞納者に対する対応を行政側は本当に真剣になって取り組むべきではありませんか。

**賀沢建設課長** 滞納のある方は、他にも税金や使用料など、複数の滞納が見られるケースが非常に多くありますので、全ての滞納に対応して同時に徴収に歩くよう事務的に調整しています。



町民の健康を願って（総合健診）

## 意見書を国に提出

# 建設労働者の適正な賃金と労働条件を確保せよ

### 議員発議

「公共工事における賃金等確保法」（仮称）の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書

提出者 渡邊 正俊  
賛成者 松本 浩司、塩 史子

### 【要旨】

建設業の就業者数は全国で約600万人と全産業における就業者数の約10パーセントを占め、わが国の基幹産業として経済活動と雇用機会の確保に大きく貢献している。

しかしながら、建設業は元請けと下請けという重層的な関係の中で、明確な賃金体系が現在も確立されていないため、建設労働者の生活は不安定なものになっている。

よって、国においては、建設労働者の適正な労働条件を確保するとともに、公共工事における安全や品質を確保するための法整備を早急に検討するよう強く要望する。

### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣  
総務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣  
国土交通大臣

## お知らせ

**双葉地方水道企業団  
議会議長に  
猪狩新一郎議員が就任**

8月25日に開催された第2回双葉地方水道企業団議定会定例会において、本町議会の猪狩新一郎議員が議長に選任されました。任期は平成19年4月までです。







現道舗装工事費が予算化された町道折返線

# 追し跡

**あの質問どっとなった？**  
議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成18年3月議会●

**町道折返線の現道舗装**

住民の日常生活に必要な生活道路については、早急に整備し、住民福祉の向上に寄与すべきだ。

**計画に基づき慎重に検討したい**

用地取得が困難な道路を現道舗装すれば、それが永久的なものになるおそれがあるため、慎重に検討したい。

## 9月議会に舗装工事費を計上

9月議会に現道舗装工事費が計上され、今年度中に整備されることになりました。

## こんなことが決まりました

### 出産育児一時金を35万円に増額

健康保険法の改正に合わせて、広野町国民健康保険条例の一部が改正されました。これにより、国民健康保険の被保険者が出産した場合に世帯主に対して支給される出産育児一時金の額が、10月1日から5万円増えて35万円になりました。



およそ1億円の予算をかけて大規模改修工事が行われている小学校

### 9月補正の状況 (会計別予算額)

	予算額	補正額
一般会計	46億8,024万円	7,710万円
国民健康保険特別会計	5億7,419万円	5,520万円
土地開発事業特別会計	1,743万円	0円
老人保健特別会計	6億7,108万円	3,314万円
公共下水道事業特別会計	2億3,975万円	330万円
農業集落排水事業特別会計	3,509万円	27万円
介護保険特別会計	2億6,210万円	1,465万円

### 9月補正の主な内容

○災害復旧費	1,390万円
○小学校改修事業費	625万円
○保険財政共同安定化事業拠出金	2,239万円
○介護給付費準備基金積立金	578万円

## 市町村が共同で国保財政の安定化をはかります

9月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに6特別会計補正予算は、一般会計は主に豪雨被害にともなう災害復旧費および小学校改修事業費等の計上で、特別会計は主に国民健康保険で新たに創設され、10月から実施される保険財政共同安定化事業に係る拠出金ほかの計上でした。

## 9月補正予算質疑

### 残業手当の支給はバランスよく慎重に

**中津伸一議員** 土木費の補正予算で、多額の時間外勤務手当が追加された理由はなんですか。他団体や民間と比較しても苦情の出ないような予算を計上し、慎重に執行することを望みます。

**賀沢建設課長** 先の大震災で、緊急を要する復旧箇所が非常に多く、時間外勤務で対応しているためですが、民間の厳しさも十分認識していますので、予算の範囲内で経費の節減に努めます。

### 疑いを持たれるような行動は慎むべし

**中津伸一議員** 役場の担当者が業者と一緒に積算し、予定価格まで教えているのではないかといった噂があります。談合防止の観点から、業者との接触は極力避けるべきだと思いますが、予定価格などはどうやら知らせていませんね。

**賀沢建設課長** 業者との打ち合わせについては、価格についての打ち合わせはしていませんし、予定価格を担当者が知り得るといふことは考えられません。



大雨災害による土砂崩れ現場 (夕筋地区)

### 行政システム経費の適正化に努めよ

**新妻良平議員** 役場内の各種行政システムやソフトウェアの委託料等には何千万円という大きな予算があてられています。基となる適正価格のようなものは示されているのですか。無駄なお金を支出していませんか。

### 海外教育交流事業は再開する方向で検討すべし

**松本浩司議員** 中学生を派遣するにあたっては、学校、保護者、行政など、いろいろな問題をクリアして、子どもたちにそういった機会を与えるべく努力するのが、教育行政を任せられたものの責務です。子どもたちの将来のためにも再開する方向で、検討すべきではありませんか。

**山田町長** 私の公約の一つでもありますから、困難を乗り越えて前向きに進めて行きたいと考えています。



コンピュータシステムの中核 (サーバ室)

**黒田総務課長** 導入に際して基準はありませんので、大きな事業は指名入札、小さな事業は合見積もりを取りながら業者を決定しています。また、コンピュータ等に関しては、職員の中から専門職を育て、内部できちんとチェックできるシステムを構築して行きたいと考えています。

## 議会を傍聴してみませんか

「議会だより」は、議会での審議をできる限り皆様に伝えるため、審議の内容を抜粋・要約して掲載しています。次の定例会は12月です。傍聴の手続きは、議会事務局で住所と氏名を記入するだけです。ぜひ傍聴にお越しください。

【広野町議会事務局

電話0240(27)4165】



# 委員会報告

平成18年第3回定例会において、各委員会委員長より第2回定例会（平成18年6月）以降の所管事務調査について報告がありました。

## 総務常任委員会

### 滞納者の意識改革に努めよ

開催日 平成18年8月11日

委員長	松本浩司
副委員長	鈴木正範
委員	中津伸一郎
委員	猪狩新一郎
委員	坂本紀一



広島町サッカー場クラブハウス工事現場

### (2) 平成18年度の町税課税状況

税金の滞納者が増加しています。現在の社会経済情勢から見ても、真に困窮している人は分納による方法などにより救済し、納税意識が希薄な人は意識の改革に努めるなど、納税義務者間の不公平感を無くし、税収を上げるよう要望しました。

廃棄物埋立地については、1年から2年で使用不能になるため、広域圏組合では新たな埋立地を探しているということでした。これらを勘案し、当町においても町美化条例に基づく循環型社会を形成すべきという意見が出されました。

※17年度負担金の内訳

総務費	1,248万円
衛生費	7,904万円
消防費	1億3,696万円

## 調査の結果

### (1) 国際人育成支援施設整備事業

男子寄宿舎新築工事は、工期的に厳しい工事であるため、粗漏工事にならないよう品質の確保と工事の安全性に最大限傾注し、工期内完成に向けて監理・監督に努めるよう要望しました。

また、町発注の公共事業については、できる限り地元商工業者が参加できる体制づくりを町として検討するよう提言しました。

### (3) 双葉地方広域市町村圏組合施設の現地調査

広域市町村圏組合は、双葉郡内8ヶ町村で構成されています。また、この事業には、広野町でも2億2,849万6,000円（平成17年度）負担（※）しています。今回は、汚泥リサイクルセンターと南部衛生センターを視察し、産業・生活廃棄物の処理について現況を確認しましたが、特に

### (4) 町民予算提案事業（1%予算事業）

平成19年度より、町民の意思を結集して夢のある町づくりを町民とともに進めて行くため、町民が自ら予算を提案することができると町民予算提案事業を実施したいという説明がありました。



汚泥リサイクルセンター視察（大熊町）

## 議会運営委員会

開催日 平成18年9月8日

委員長 猪狩新一郎  
副委員長 松本浩司  
委員 中津伸一郎  
委員 塩田史子  
委員 渡邊正俊

平成18年第3回定例会の日程および提出予定議案、陳情書等、広野町議会委員会条例の一部を改正する条例（案）、広野町議会広報の発行に関する条例の一部を改正する条例（案）を審議しました。



森林環境教育講演会（小学校）

## 産業常任委員会

### 中央台・山ノ神線は11月に開通

開催日 平成18年8月17日

委員長	渡邊正俊
副委員長	新妻良平
委員	佐川栄蔵
委員	渡辺久長

## 調査の結果

### (1) 平成18年度産米の生産目標

稲作農家の米の生産調整申告は既に済み、目標を達成していますが、今後の加工用米の集荷状況や振興作物等の収穫状況によっては目標数値の変動も考えられるため、状況を見守りながら調査します。

### (2) 森林環境交付金事業

今年度から創設された森林環境税を財源とした森林環境交付金事業については、当町では主に小・中学生に対する森林環境教育が計画されています。今後は町独自の計画を作成して事業の推進に努めるよう提言しました。

### (3) 6月16日の大雨災害

被災箇所のうち、通行止めや農業用水路の閉塞等で緊急を要するものは、既に復旧事業が行なわれました。また、農地災害箇所の復旧工事については、当該地権者との話し合いを十分に行い、受益者から負担金を徴収するものについては、特に慎重に対応するよう要望しました。



土砂崩れで農業用水が閉塞（関ノ上地区）

### (4) 町道中央台・山ノ神線

本路線の計画延長約1,400メートル区間については、11月に供用が開始される予定です。また、県道上戸渡・広野線の寺所地内から虻木地内までの未計画区間、延長270メートルについては、利用者である町民の利便性を第1に考え、全線開通に向けて努力するよう要望しました。

### (5) 県道広野・小高線

本事業については、遅々として事業の進展がないため、本路線の起点を変更することも視野に入れ、県道広野・小高線整備事業、それにあわせて町道整備事業の推進をはかり、1日も早く地域住民の生活道路を確保したいという説明がありました。

### (6) 生活道路現道舗装事業

当初予算に計上した事業はほぼ完了しましたが、この事業は住民福祉の向上に大きく寄与することから、次年度以降の計画の前倒しについても、町民が公平に本事業の恩恵を受けられるよう配慮して事業を推進するよう要望しました。

### (7) 平成18年度工事発注状況

今年度発注された建設グループ所管の工事11件については、いずれも計画どおりの進捗状況でした。今後発注予定の工事についても可能な限り早期に発注し、安全性の確保と年度内完成に努めるよう要望しました。



# エネルギーと共生した生活基盤を築くため

～総務常任委員会 島根県浜田市議会研修～

浜田市は、島根県西部の中心に位置する人口6万3,000人の地方都市です。

三隅発電所1号機は、出力100万キロワットの石炭を燃料とする火力発電所ですが、同2号機については、中国電力が地球環境問題への対応や電力自由化の進展などを理由に計画を次々に変更したため、結果的に着工は平成26年度、運転開始は平成29年度と、当初に比べて13年も遅れています。

当町においても、広野火力発電所6号機の増設は、電力自由化の影響等により東京電力の総電力需要が落ち込んでいることなどから、今後も予断

## 研修報告



中国電力との関わり方について話を聞く

を許さない状況にあります。今回視察した浜田市の取り組み等を参考に、エネルギーとの共生を目指す町として、より安定した社会基盤や生活基盤を築くためにも、「町民のために何ができるか、何をすべきか」ということを再度検討し、さらなる地域振興をはからなければなりません。

良香・良食味で売出中の台湾米



## 国際競争力のある安全な食糧の供給を

～産業常任委員会 台湾農業視察研修～

台湾米は、平成16年から日本への輸入が再開され、品質の高さと口あたりの良さから、日本市場で非常に高い評価を与えられ、年々輸入量が増加しています。世界で一番うまいといわれる日本の米ですが、台湾でも品種の改良が次々と進み、良食味の米が栽培され始めています。日本国内でも産地間の競争は激化していますが、一転して視野を広げ、海外との競争に目を向ける時期に来ているのかもしれない。いずれにせよ、なお一層、安全な食糧の供給に努めなければならぬと痛切に感じました。

大規模な保冷庫で品質が管理されている台湾米

## 文教厚生常任委員会 国保税の滞納者対策実行へ

開催日 平成18年8月18日

委員長 子徳昭雄  
副委員長 史政紀利  
委員 塩黒鈴木  
委員 田木磯

### 調査の結果

#### (1) 特別養護老人ホームのあり方

県の指導では、特別養護老人ホームは、入所者が少ないほど採算性が悪くなるため、今後建設する施設については、80床以上のものが望ましいそうです。

町としては、あと1年の猶予期間を置き、もう少しさまざまな観点から検討したいということなので、町民が納得の行く施設をつくるよう要望し、了承しました。

#### (2) 乳幼児医療費の窓口無料化と対象年齢の引き上げ

国保以外の保険加入者（社会保



もぐもぐキッチン (保健センター)

険、共済保険等)であつても、平成19年4月診療分からは、国保同様に窓口負担が無料になります。また、対象年齢についても、当町独自の取り組みとして、これまでの小学校入学前(満6歳)から、中学校入学前(満12歳)まで引き上げるようになりました。少子化対策として子育て世帯の経済的負担が軽減されるうえに、助成申請が省略され、乳幼児の病气やケガの治療が促進されることから、高く評価しました。

#### (3) 広野町国民健康保険滞納者に対する被保険者資格証明書交付

国保加入者間の負担の公平をはかるため、国民健康保険法に基づく滞納者対策として、国保税の滞納者から被保険者証を返還してもらい、代わりに被保険者資格証明書を交付することになりました。当町を除く郡内全町村で既に交付されていることや、国保税の滞納

総額が約6,000万円にも上ることから、導入されるものです。

#### (4) JFAアカデミー福島の現状

JFAアカデミー福島は、日本サッカー協会のスタッフが6人で指導にあたり、順調にカリキュラムをこなしています。生徒たちは1学年の3クラスにそれぞれ在籍し、自転車で通学して地元の生徒とともに授業を受けています。ただし、毎週木曜日の5・6校時の総合学習の授業だけは別メニューとして、広野町サッカー場で練習しています。また、7月にはJFAアカデミー福島からの要請を受け、町内のサポーターファミリー宅でホームステイが行われました。



木曜日の5・6校時にサッカーの練習をする生徒たち

## 議会日誌

29日	19日	12日	9日	8日	3日	30日	29日	28日	25日	24日	23日	22日	18日	17日	16日	11日	4日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
広報委員会	敬老会	第3回定例会	パークゴルフ東北交流大会	議会運営委員会	福島県相双地方(川内地区)総合防災訓練	双葉地方広域市町村圏組合議会定例会	広報委員会研修	町長研修会	双葉地方水道企業団議会定例会	山形県河北町議会広報特別委員会来町	双葉地方広域市町村圏組合議会総務常任委員会	双葉地方広域市町村圏組合議会消防厚生常任委員会	双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛生常任委員会	文教厚生常任委員会	産業常任委員会	総務常任委員会	相馬港建設促進期成同盟会総会



# 町政を問う

## 一般質問

### 過去5年間における町財政の動きはどうか

火力発電所の固定資産税に大きく依存している…町長

**問** 平成13年度から17年度の決算は、歳入・歳出それぞれの特徴を踏まえ、どのような動きをたどって現状に至っているのか。

**答** 山田町長

当町の歳入は、火力発電所の固定資産税に大きく依存している状況にあります。

歳出は、義務的経費のうち、人件費については、職員の削減や特別職給与の削減などにより減少傾向にあります。扶助費では、児童手当の支給対象の拡大などにより増加傾向を示していますが、公債費については、税収の減少や大型の公共事業の実施などにより、地方債借入額が増加してきたことから増加傾向にあります。

### 行政コストの増減は

**問** 平成17年度決算の財政全般に占める世代間負担比率と行政コスト総額の前年度比、および性質別行政コスト額の増減はどのようになっているか。

**答** 山田町長

当町では、バランスシートや行政コスト計算書は作成していません。

今後の財政運営については、毎年、決算額を加味した財政見直し調査を行い、中期財政運営指標や、行政改革推進のための指針である集中改革プランに基づき適正に運営します。

なお、今後の町税収入の減収や経常的経費の増加傾向を踏まえ、財源確保の観点から、使用料、手数料等の見直しや経費の節減・抑制のため、各種事務事業の見直しを検討して行かなければならないと考えています。



新妻 良平 議員

**問** 全国的に、子どもの命が奪われるといった重大な虐待事件が後を絶たないが、当町における児童虐待等の実情はどうか。また、それを察知するシステム等の有無と今後の対処方についてはどうか。

### 児童虐待事件をどう未然に防ぐのか

児童虐待防止組織の設置を検討している…町長

**答** 山田町長

幸いにも当町においては現在のところ、児童虐待等の事例や報告はされていません。

また、児童虐待等の実情を察知するシステムは具体化されていませんが、児童虐待の情報察知および未然防止のために、各地区の民生委員の方々に状況把握をお願いし、連絡を密にしています。他に保育所、幼稚園、小・中学校

と連携して情報交換しています。今後の対処としては、児童虐待の予防や早期発見、ならびに適切な対応につなげるため、年度内に児童虐待防止組織の設置を検討しているところです。



明るく元気に育ってね (幼稚園運動会)

### 地域全体で子育てのできるまちへ



ニセコ町幼保総合施設の建設現場を視察

～文教厚生常任委員会 北海道ニセコ町研修～

ニセコ町は人口4,600人の農業と観光の町ですが、近年は「まちづくり基本条例」の先進地として、全国から注目されている町でもあります。今回視察した幼保総合施設は、幼稚園、保育所、地域子育て支援センターをあわせた施設で、住民参加のもと来年4月の運用開始に向けて建設が進んでいました。

当町でも近い将来、幼保一元化、あるいは幼保総合施設を実現させる場合は、少子化や幼児教育における平等性を考慮し、広く町民と情報を共有し、家庭から地域全体での子育てへと、誰もが安心して子育てのできる町にしなければならないと感じました。

議会だよりの編集技術向上のため、平成17年度町村議会広報全国コンクールで最優秀賞に輝いた始良町議会広報の編集方法を研修しました。

研修では、「あいら議会だより」を基に、編集方針や紙面構成、発行までの経過等、事前に依頼した質問事項の回答とあわせ、説明を受けました。

中でも、紙面構成には配慮しており、見出し、写真、余白をそれぞれ20パーセント、文章を40パーセントとして、見やすい紙面づくり

を心がけ、追跡レポートについても、当時の質問者名を明示していました。

特徴としては、これまで培われた編集技術を維持するため、広報委員については、改選にあっても半数の委員は残留し、後輩の指導に当たるといふことでした。

私たち広報委員も議会と町民の架け橋として、議会活動が町民に早く正確に伝わるように、事務局と2人3脚で頑張ります。

いつの日か始良町議会広報を超えることを夢見て。

### 情報提供の活性化と議会議員の資質向上を目指して

～議会運営委員会 和歌山県美浜町議会研修～

美浜町議会では、ITを議会に取り入れて議会の活性化や住民への情報発信等を行い、住民福祉および議員個人の資質を向上させたいということから、平成17年9月に「議会ITに関する特別委員会」を設けています。

当町の議会も文章の作成や議会ホームページの作成、他町ホームページの閲覧等、ITの知識を習得することは議員個人の資質向上はもちろんのこと、住民に対する情報提供の活性化にもつながるのではないかと、そんな気持ちを強く持ちました。



ITで議会情報の活性化を目指す美浜町議会

### 議会広報「日本一」

あいら議会だよりを学ぶ

～広報委員会 鹿児島県始良町議会広報研修～



始良町議会広報等調査特別委員のみなさん



## 人口減少が続く中で町の将来をどう考えているか

少子化対策を含め独自の施策を検討したい…町長

**問** 減少を続ける町の人口をどのように考えているのか。また、当町を単独町として維持、発展させて行く上で、最低人口はどれくらいか。

**答** 山田町長

本町の人口は、平成17年国勢調査で5,533人となり、前回の調査時より280人減少するなど、平成13年度以降減少傾向が続いています。

本町においても、これ以上の人口減少は、社会の経済、地域の維持可能性を基盤から揺るがすなど、社会全般にわたりさまざまな問題が起こることが予想されますので、少子化対策を町政上の緊急かつ最重要課題の一つに位置づけたところです。

今後とも、人口減少の問題については、さまざまな視点から本町の独自の施策を検討したいと考えています。



家族でスイカ割りに挑戦（児童館ふれあい夏祭り）

## やまゆりの振興対策は

**問** 町内に、町花「やまゆり」の群生地はあるのか。どのように把握しているのか。

また、絶滅が危惧されるが、保護および振興対策を行う考えはあるのか。

**答** 山田町長

毎年7月下旬頃の開花時期に、林道沿いや野山に自生、または、法面に点在し自生している様子を確認しています。また、道路や林道に自生するやまゆりについては、路肩除草作業の際に刈り払わないように努めています。野山に自生するものは、イノシシ等の被害により、減少傾向にあります。また、平成13年度に開催した全国やまゆりサミットの関連事業として、中学校、公民館、二ツ沼総合公園内をやまゆりの球根を1,700球ほど植え付け、保護に努めています。



渡邊 正俊 議員

## 児童の視点に立った施設整備を

**問** 小学校の男子用トイレを完全個室化できないか。

**答** 山田町長

学校長に現状を確認したところ、使用に関して問題はないという回答を得ました。今後とも使用に際して完全個室化しなければ使用しにくいというような状況にならないよう、児童を教育して行くということですので、町としても見守って行きたいと思っています。



交通安全パレードで行進する小学生男子児童

## 談合防止にどのように対処するのか

制限付き一般競争入札などを検討したい…助役

**問** 談合防止のための対策が必要であるが、どのように対処するのか。

**答** 塚越助役

公共工事の入札は、透明性の確保が何にも増して重要なことから、制限付き一般競争入札などを検討したいと考えています。



入札箱

## 建設する気はあるのか

**問** 特別養護老人ホームの建設については町長の選挙公約であるが、真剣に考えているのか。また、建設に当たっては補助事業で推進すべきだが、国や県にどのようなアプローチをしているのか。

**答** 山田町長

特別養護老人ホームの整備については、今のところ、国が抑制する方針を示しているため、これから新たに整備する市町村は、補助金が当てにならない状況です。

当町の財政力等を考慮すると、国・県の補助金なしにはとうてい無理な事業ですので、今後も公約の実現に向け、国・県に積極的にアプローチしたいと考えています。

## 対象者の範囲拡大を

**問** 奨学資金を短大生や専門学校生にも貸与できないか。

**答** 芦川教育長

短大生および専門学校生を含めた内容で、平成19年4月1日を適用日として考えています。

## 請負業者はどう選ぶ

**問** 随意契約工事の今年1月から8月までの発注件数と工事金額はどのくらいか。また、工事金額の積算はだれが行い、請負業者はどのような方法で選定しているのか。特定の業者に集中しているようなことはないか。

**答** 山田町長

随意契約による工事等発注件数については89件で、契約金額の総額は約7,580万円です。

また、工事金額の積算は、それぞれの工事担当が県の積算基準等に基づいて積算していますし、業者の選定についても、契約手続きの公正さを確保するために、随意契約の場合でも可能な限り、3社以上の業者を選定して見積書を提出させ、最も有利な条件の者を選定し、契約しています。

したがって、特定の業者を契約の相手方として選定することはありません。



古いU字溝を再利用（随意契約工事）



## 道路計画は予想される災害に対応しているか

災害に対応した道路網の整備に努めたい…町長

**問** 当町における防災対策の実効性については、どのように検証し町民に周知しているのか。また、道路計画は予想される災害に現実的に対応して計画されているのか。

**答** 山田町長

町道は、住民の生活に直結した身近な道路であり、これらも災害に対応した道路網の形成をはかり、国道、県道等の幹線道路への連絡がスムーズにされるのが重要ですので、幹線としての機能を果たすべき町道と、日常生活の



現道舗装工事が施された切通農道

利便性に寄与する町道とに区分して整備の推進に努めています。また、災害時における一人暮らしの高齢者や障害者等の生活道路の確保も重要であることから、生活道路現道舗装事業などにより、その整備の推進に努めて行きます。

## 原発事故への対応は

松本 浩司 議員

**問** 万が一、原発や火発等で重大事故が発生した場合、その避難計画は周知されているのか。また、災害時における高齢者・障害者等の把握はされているのか。

**答** 山田町長

避難の周知につきましては、行政区長会議において、実施計画を示し、集合場所、避難経路、誘導について説明し、周知徹底をはかったところですが、今後、新計画が樹立され、整備が整えば、再

度周知徹底をはかる考えです。なお、現時点において、当町における65歳以上の高齢者は、1,238人で、障害者は、149人です。

## 自主防災組織の指導は

**問** 自主防災組織等への指導は行われているのか。

**答** 山田町長

地域住民が「自分たちの町は自分たちで守る」という連帯感に基づく組織として、はじめて「苗代替地区」を認定しました。町としては、自主防災組織の啓蒙活動とともに、新たな組織の設立に向けて、広域消防の協力のもと、助言指導にあたって行きます。

## 資源ごみの訪問回収はできないか

実情を踏まえて慎重に対処したい…町長

**問** 資源ごみを役場の集積所まで運ぶことができない高齢者に配慮して、資源ごみの訪問回収はしてはどうか。

**答** 山田町長

資源ごみにつきましては、17年度より月1回を月2回に増やし、環境美化推進に努めているところであり、集積場所については、役場の車庫で行い、持込を原則としています。高年齢者への対応についても、今後、その実情を総合的に勘案しながら慎重に対処したいと考えています。



塩 史子 議員

## 自主防災組織の支援は

**答** 山田町長

**問** 地域住民が自主的につくる組織に対して、行政はどのような支援、指導をされるのか。

**答** 山田町長

(松本浩司議員への答弁と同様のため省略)

**問** 収入役は、町長の補佐役として、公金の管理者として、重要な役割を担ってきた役割だが、今後も当町において必要か。

**収入役は必要か**

**答** 山田町長

本年6月7日に公布されました「地方自治法の一部を改正する法律」に基づき、収入役制度については、平成19年4月1日より廃止され、一般職員による会計管理者を置くことになりました。町条例規則等についても、今後、所要の改正を行います。

## 地域住民の立場に立った生活道路の整備を

状況に合わせて総合的に判断したい…町長

**問** 多くの世帯が生活道路として利用しているにもかかわらず、幅員が狭い上に行き止まりになっている道路や、舗装もされず水マンホールふたの部分でデコボコ道の真ん中に飛び出している危険な道路などは、利用者や緊急車輛等の通行を考えて改良すべきではないか。

**答** 山田町長

生活道路として利用されている町道のうち、日々の生活に支障をきたす、あるいは防災上の観点から改良等が望まれている道路については、個々の道路ごとに路線の拡幅改良工事が可能なのか、地形的な制約や用地の取得、家屋の移転など、さまざまなケースが考えられますので、総合的な判断の基に計画したいと考えています。



行き止まり状態の生活道路 (苗代替地区)

## 町の環境保全を

**問** 磐城森林管理署が行っている篤平資材運搬路新設工事は、樹齢数十年・数百年といった原生林が伐採され、谷を埋め立てながら、既に1キロメートル以上進んでいる。自然保護と水環境保全の観点から、町はどのような連絡を受け、どのように対処しているのか。

**答** 山田町長

この工事は、浅見川の水源涵養に寄与するための治山施設を整備するための工事で、5年ごとに策定される森林計画に基づく事業であり、広く住民に縦覧され、公開されているものです。工事は今年度で完了の見込みであり、工事中の土砂等の流出には細心の注意が払われています。

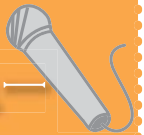


鈴木 正範 議員

## お待ちしております

「議会活動」または「議会だより」について、皆様のご意見・ご感想をお寄せください。  
TEL: 0240012714165  
FAX: 024012714167  
インターネットメールアドレス:  
gikai@town.hirono.fukushima.jp





# 住民の心と心を結ぶ 生活道路の現道舗装

これまで町道に認定され拡幅改良計画が示されているにもかかわらず、用地問題等が解決されないまま長年放置されてきた道路や、長年生活道路として利用されてきた農道や河川の堤防等を簡易舗装して、地区住民の生活道路を確保する事業が推進されています。シルバーカー（歩行補助のための手押し車）を利用している高齢者の負担と不安を軽減するためにも早急な整備が待たれます。そこで今回は、生活道路現道舗装事業について、周辺にお住まいの方にご意見を伺いました。



渡辺 重子さん  
下北迫・折返

この度、長年の願いであった、けがや骨折等が起きていた折返の生活道路が舗装されると聞いて、地域に住む人はもちろん、交通戦争といわれる現在の車社会の中で、お互いの安全が保たれますことは何よりの喜びです。町長さんをはじめ、町議会議員の方々の実行力に深く感謝申し上げます。

政道、人道、道徳等、すべて「道」から発展するものと思います。5年前に15



渡辺 孝一さん  
折木・上原

行政区長を継いだ主人が、地域の方々の強い要望として具体事項を提出しましたが、予算、道路規格、地権者など難しい問題があつて遅れたことも聞きました。それらも解決され、この住み良い広野町の住民の「心と心を結ぶ道」として、早期の完成を心よりお願いいたします。

自宅前の道路が現道舗装された渡辺さんは、「この地区では、家の門口として農道を利用しているところが多いが、それ

が1本舗装されただけで、こんなにも暮らしが快適になるものなのか」とたいへん喜んでいきます。

中でも、見通しが悪くて危険な交差点を避け、中学生や通勤の車が安心して通行できるようになったことや、道路に雑草が生えず、砂利が飛んだり流れたりせず、手入れが簡単になったことが、なによりもうれしいということでした。

渡辺さんは、「舗装以前はさほど気にかげなかったが、今は農作業で道路を汚したときは清掃し、作業車も長時間停めて置かないようにしている。町として大きな事業も大切だと思いますが、比較的小ない予算でも、生活に密着した町民が本当に喜んで喜んでもらえる事業をこれからも進めてほしい」とおっしゃっていました。

（インタビュー 塩 史子）



現道舗装された農道（上原地区）

## 編集後記

近在の田んぼでは、稲刈りが最盛期をおかえ、秋本番となりました。

味覚の秋、実りの秋、食欲の秋といわれるように、秋になると食欲が出てくるのは、夏に消耗したエネルギーや水分を体が必要しているからだそうです。

白菜、大根を主流とした秋冬野菜、底引き網で揚がる近海魚果物、山の幸、秋は美味しいものがいっぱいあります。

これからは、夜長の季節です。お料理は手間を惜しまず、旬のものをふんだんに使い、真心込めて作り、家族で楽しい食事をしたいものです。（塩）

## 広報委員会

- 議長 坂本 紀一
- 委員長 猪狩新一郎
- 副委員長 塩 史子
- 委員 中津 伸一
- 委員 渡邊 正俊

次の定例会は12月です